



研修所講師からのメッセージ 五感のすべてが笛の音に

文●山口幹文

研修所では主に篠笛の指導を担当しています。もう随分長く講師を務めていますが、肝心の指導方法が自分の中で上手く纏まらず、いまだに苦勞しています。そもそも篠笛は流派や地域によって楽器や演奏方法が異なり、ピアノにおけるバイエルのような教則本もありません。私自身は演奏技術を誰に習うということもなく、舞台上で経験（失敗）を重ねながらどうにかこうにか凌いできました。そのような中でここ数年は、自分で行ってきた稽古方法を整理して伝えることと、折りをみて個々に適切な手助けをすることを中心に行っています。

研修所の二年間という時間は、篠笛を習得するには決して充分であるとは言えません。そのため、先々どのような楽曲にでも対応できるように、多くの時間を基本的な稽古に割いています。姿勢、呼吸、構え方などは、曲目を練習するような喜びもなく地味な内容ですが、笛だけでなく太鼓や踊りを習得する上でも、大いに役に立つはずで、これらの基礎的な事柄を体得しておけば、次の段階の練習に集中できるようになるでしょう。

もちろん一人前になるためには技術的な稽古だけではなく、感性を磨かなければなりません。美醜に関わらず、心の中に多彩な風景を持つべきです。そのためには音楽に限らず、五感に訴えるすべてのものに触れてください。苦手な分野のものでも身近にある日常的なものでも、そ



の気になって目を向ければ何かを語ってくれずにはいけません。そしてその対象に関する好悪の原因を、できるだけ深くはつきり探ること。これは自分の本質を理解し、ひいては個性や獨創性を確立する一つの方法にもなります。

しかし、何と言っても肝心なのは学ぶ姿勢でしょう。物事を身につけるにあたって、最初の段階では個性や獨創性などというものは邪魔になるだけです。上達すれば、いずれ表現者として独自の色合いが出てくるもの。まずは謙虚な心持ちで取り組み、意欲を持つて吸収することです。芸事に近道はありません。たとえ合理的な練習方法を編み出したとしても、それ相応の時間がかかるものと覚悟して学んでください。そして舞台上に上がることのみを目標とせず、己を高めるべく日々励んでいけば、自ずと素晴らしい演奏者になれるはずです。

研修所講師の先生方(敬称略)

佐藤利夫 [講義] 佐渡研究者
福嶋徹夫 [講義] 元・新潟県栽培
漁業センター所長

桃井宗生 [茶道] 裏千家学校茶道教授
松永政雄 [能] 宝生流教授嘱託
幸清流小鼓準職分

小笠原匡 [狂言] 能楽師和泉流狂言方
金城光枝 [琉球舞踊] 琉球舞踊家
太圭流華の会師範

岡田京子 [歌] 作曲家
伊藤多喜雄 [唄] 民謡歌手

赤塚五行 [俳句] 新潟日報佐渡版俳句選者
熊田勝博 [講義] 照明家
葛原正巳 [陶芸]

西須殉治 [木工] 指物師
岩崎ちひろ [魚のさばき方] 魚屋
松田祐樹 [講義] 佐渡の芸能研究者

狩野泰一 [笛] 篠笛奏者
金子竜太郎 [太鼓など] 和太鼓奏者

特別講師

岩手県盛岡市黒川さんさ踊り保存会の皆様
秋田県雄勝郡羽後町・西馬音内盆踊り
「北の盆」の皆様

鼓童メンバー講師

大井良明、藤本吉利、小島千絵子、
藤本容子、大井キヨ子、山口幹文、齊藤栄、
見留知弘、辻勝、船橋裕一郎、石塚充、小田洋介
阿部好江、阿部研三
青木孝夫、菅野敦司、山口康子、千田倫子、
石原泰彦、後藤美奈子、松浦充長、
土橋達也、メラニー・テイラー